

F M おたる 編成制作部・技術スタッフ

高校63期 卒業 馬場 倫未^{ともみ}

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうござい
ます。どんな3年間でしたか？

私は卒業してから約八年が経ちます。入学初
日は自分のクラスに誰も知り合いがいなく、人
見知りの私は物凄く不安でしたが、勇気をだし
て声をかけたら実は私もこのクラスに知り合い
がいなかったという人ばかりで仲良くなったのを覚
えています。

あまり詳しく覚えていませんが、高校時代は
とにかく部活の毎日でした。ソフトボール部と
茶道部を掛け持ちしており、大変でしたがそれ
がとても強く印象に残っています。

引退後、周りが行きたい大学や専門学校、就
職を決める中、私も早く進路を考えなきゃと
思っていました。特に将来の夢が決まってい
なかった私はやりたいことやなりたいたいこともな
く焦っていました。ただ、好きなことはありま
した。音楽を聴くことが好きで、お金を貯めて
CDを買い、ライブにも足を運ぶようになりま
した。初めて高校の友人と行ったライブは今で
も鮮明に思い出します。それが唯一好きなこと
だったため、音楽関係に携わる仕事に就きたい
と思い専門学校に入学しました。専門一年生の

後半から卒業までは、様々な現場に行つて学ん
だ方がいいと思い、学校で幹旋されるバイトをし
つつ就職活動をし、F M おたるへ入社しました。

F M おたるは、地域密着のコミュニティ放送
です。中学、高校はキー局（道内のF M ラジオ、
A M ラジオ）をよく聴いていたので、当時はコ
ミュニティF M という言葉自体初耳でした。技
術スタッフで入り、現在は技術のほか制作・パー
ソナリティ・営業もしています。辛いことや悩
むことも沢山ありますが、「ラジオ聴いている
よ」という声を聞くと、自分の作った音や声
がちゃんと届いているんだと嬉しい気持ちに
なりまた頑張ろうとも思います。

昨年は特に強く実感しました。2018年9
月6日、北海道胆振東部地震、道内全域でブラッ
クアウトが発生した時です。コミュニティF M
の使命は防災・災害放送です。入社してから小
樽に住んで、初めての経験でした。地震発生か
ら約15分後、スタッフ全員集合し、スタジオか
ら非常電源を使用し「臨時災害放送」を開始し、
地震概況・災害対策、小樽市役所からの情報を
停電復旧まで伝えました。この間、いつ復旧す
るのか分からない不安の中、市民の方から非常
電源に使うガソリンを提供していただいたり、



「私の所（近所）でも営業や炊き出しをしてい
るので伝えてほしい」といった私達では気付け
なかった情報を教えていただいたり、リスナー
さんからは200件以上のメッセージが届きま
した。本当に有り難かったです。

「ラジオから声や曲がかかると嬉しい」「曲を
聴いて元気をもらった」といったメッセージは
逆に私達が元気をたくさん貰いました。そして
コミュニティF M の存在意義を改めて強く感じ



ました。それと同時に、どうしてももっと伝わ
るのか、普段からラジオをつけてもらうために
はどうすればいいか、その為におもしろい企画
はないかなど改めて考えるきっかけにもなりま
した。

今はラジオも手軽に聴けるので前より様々な
ジャンルを聴くようになりました。顔も見えな
いのに声だけで感情が伝わるのはとても不思議
で、それが良いなあと思います。

学生時代の経験や、好きだったものはこれか
ら先どこかで役に立ちます。

高校時代、将来の夢も特に決まっていなく、
やってみたいことも定まっていなかった私です
が、当時音楽が好きだったからそれに関するテ
レビやラジオ、雑誌をひたすら読みました。一
緒にライブに行く友人もでき、そこで出会う人
達もいました。それが今に活かされていればい
いなと思っています。

歳を重ねるにつれて辛いことや苦しいことに
直面しますが、それよりももっと嬉しいことや
楽しいことがあります。好きなことややりたい事
も沢山出てきます。

私はこの先色々なものに触れ、色々な人に
会い、周りの人を大事にしていきたいと思いま

夢があれば夢に向かって進んで行き、好きな
ことがあればそれとことんやり、別に何もな
くても私は良いと思っています。これからたく
さん吸収して、周りの人を大事にして、ずっと
楽しく過ごしてください。

この度はご卒業おめでとうございます。皆さ
んのこれからが最高に素晴らしい日々になりま
すように願っております。

